

授 業 科 目 名		必修の区分	単位数	開 講 年 次
経営学特殊講義 「現代企業をめぐる諸問題 (会計的側面)」			2	2～3年・後期
講 師 名	所 属	オフィスワ-・場所		連 絡 先
高須 教夫ほか	会計研究科			
講義目的	企業における会計不正問題の顕在化を受けて、かかる不正をもたらした要因およびそれに対する会計規制についての理解を図ることを目的とする。			
講義内容 授業計画	<p>現在、企業における会計不正をめぐる問題が顕在化してきている。そこで、本講義においては、企業においてなぜ会計不正が行われるのか、また、かかる会計不正の顕在化を受けて、それを防止するために今日いかなる会計規制が行われようとしているのかということについて検討する。なお、講義にあたっては、講義目的を踏まえ、各分野を専門とする教員によるリレー講義の形式で行う。</p> <p>授業計画</p> <p>第1回 問題提起</p> <p>第2回 会計基準と会計操作</p> <p>第3回 企業における会計操作の誘因 - 会計の利害調整機能と会計操作 -</p> <p>第4回 企業における会計操作の誘因 - 会計の情報提供機能と会計操作 -</p> <p>第5回 会計不正と企業統治 - 会社法の制定 -</p> <p>第6回 会計不正と監査 - 監査基準の改訂 -</p> <p>第7回 会計不正と監査 - 内部監査と内部統制 -</p> <p>第8回 中間試験</p> <p>第9回 会計操作と会計観</p> <p>第10回 証券市場の機能的変質と会計観の変更 - 収益費用アプローチから資産負債アプローチへの移行 -</p> <p>第11回 企業の国際化と会計基準の国際的収斂</p> <p>第12回 企業の国際化と会計情報システムの国際的統合 - XBRLの光と陰 -</p> <p>第13回 会計操作と課税</p> <p>第14回 企業の国際化と国際税務</p> <p>ただし、講師の都合により講義順序が変更になる場合もある。</p>			
テキスト				
参考文献				
成績評価 の基準				

履修上の注意 履修要件	
備 考	

本学の配付資料を参照してください。